

第60回定例会

日時 令和3年11月6日(土) 15:00~17:00
場所 自治会館
出席者 11人

■お知らせ

1 麻生区総合防災訓練

日時 12月4日(土) 9:20~12:00
場所 王禅寺中央小・中学校 校庭他
対象 自主防災組織
内容 見学・講座参加
※参加希望者連絡してください。



2 小田急のくらしマーケット

日時 11月27日(土) 10:00~15:00
場所 栗平駅北口広場
※時間のある方は、ふらっと立ち寄ってみてください。



■避難所運営会議(10月18日)報告

1 白鳥中学校にペット同行避難が可となった経緯

- ・ペット同行避難についての見解に変化が生じてきた。
- ・参加者から、「この地域で命を落とす人を出さない取り組みをしていきましょう。その取り組みの一つとして、ペット同行避難を考えていきましょう。」という発言があった。

2 課題

- ・ペットの受け入れイメージについて、人それぞれ異なっているため、話を進めて行くためには、共通イメージをつくる必要があると感じた。
- ・今後の進め方についての提案
ペットとぼうさいで同行避難に伴う避難所運営の原案を作成
⇒自治会と一緒に原案を検討
⇒白鳥中学校と案について意見交換
⇒他の町会・自治会と案を検討
- ・今年度中(3月末まで)に、同行避難に伴う避難所運営の原案を自治会に提出
※2月の定例会で原案完成を目指す。

3 その他

- ・危機管理の想定する白鳥中への避難者人数 300人。
- ・人の避難スペース ①体育館(100人程度) ②武道館 ③教室
- ・備蓄のわかめご飯は、一日一人一食として、避難者が3日間生活できる量を保管。
- ・備品一覧に、番号札が20セット(飼い主、ペット用か?)程、追加されていた。

■議題

1 避難イメージ

- ・平均1世帯2人と仮定すると、白鳥中学校には、150世帯が避難。
- ・ペット保有率を20%(過去の統計より)とし、1世帯1~2匹とした場合、30~50匹が同行避難。

- 避難ペットの種類（環境省ホームページより）は、犬、猫、小型哺乳類、鳥類。
- 爬虫類は、連れてきても温度管理ができないので、死んでしまうと思う。
- ケージに入るペットを想定。リードで繋ぐだけの場合、様々な面でリスクがある。
- 避難所に入れる人は、家が全壊か半壊している世帯。自宅からケージを取り出せない可能性もある。2～3日、ケージなしで避難し、届いた物資で代用するなどの対応になるかと思う。
- 避難物資については、ペットショップやトリミングサロンと協定を結んでおく方法もある。

2 同行避難に伴う避難所運営の原案作成について

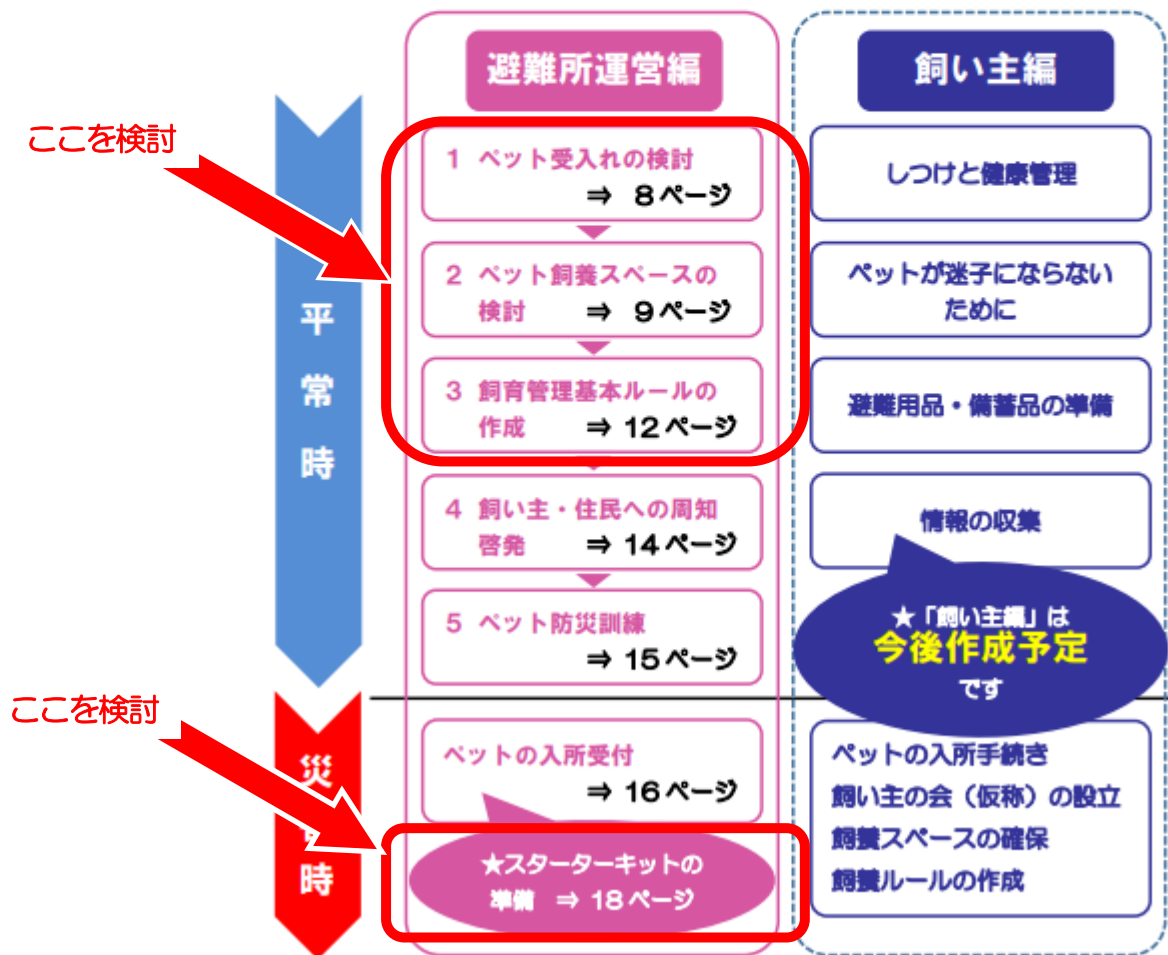
埼玉県保健医療部生活衛生課「ペット同行避難ガイドライン（避難所運営編）」資料を参考に

災害に備えたペットの対策

過去に発生した多くの災害では、避難所におけるペットの取扱いが十分に想定されていなかったことで、トラブルが発生する事態が散見されました。

避難所は様々な方が共同生活を送る場であり、ともに災害を乗り越えるためには避難所運営側、そして飼い主も平時のうちに準備を進めておくことが必要です。

災害対策フローチャートの一例



(1) ペット受け入れ検討

- 今までのマニュアルから抜粋すれば OK

(2) ペット飼養スペースの検討

- 参考：虹ヶ丘小学校避難所レイアウト



- ペット同行避難者とそれ以外の避難者の動線を分ける。受付から動線を分ける。
- 白鳥中避難所の人の避難スペース ①体育館 ②武道館 ③教室

・白鳥中避難所の同行避難用スペース案の検討

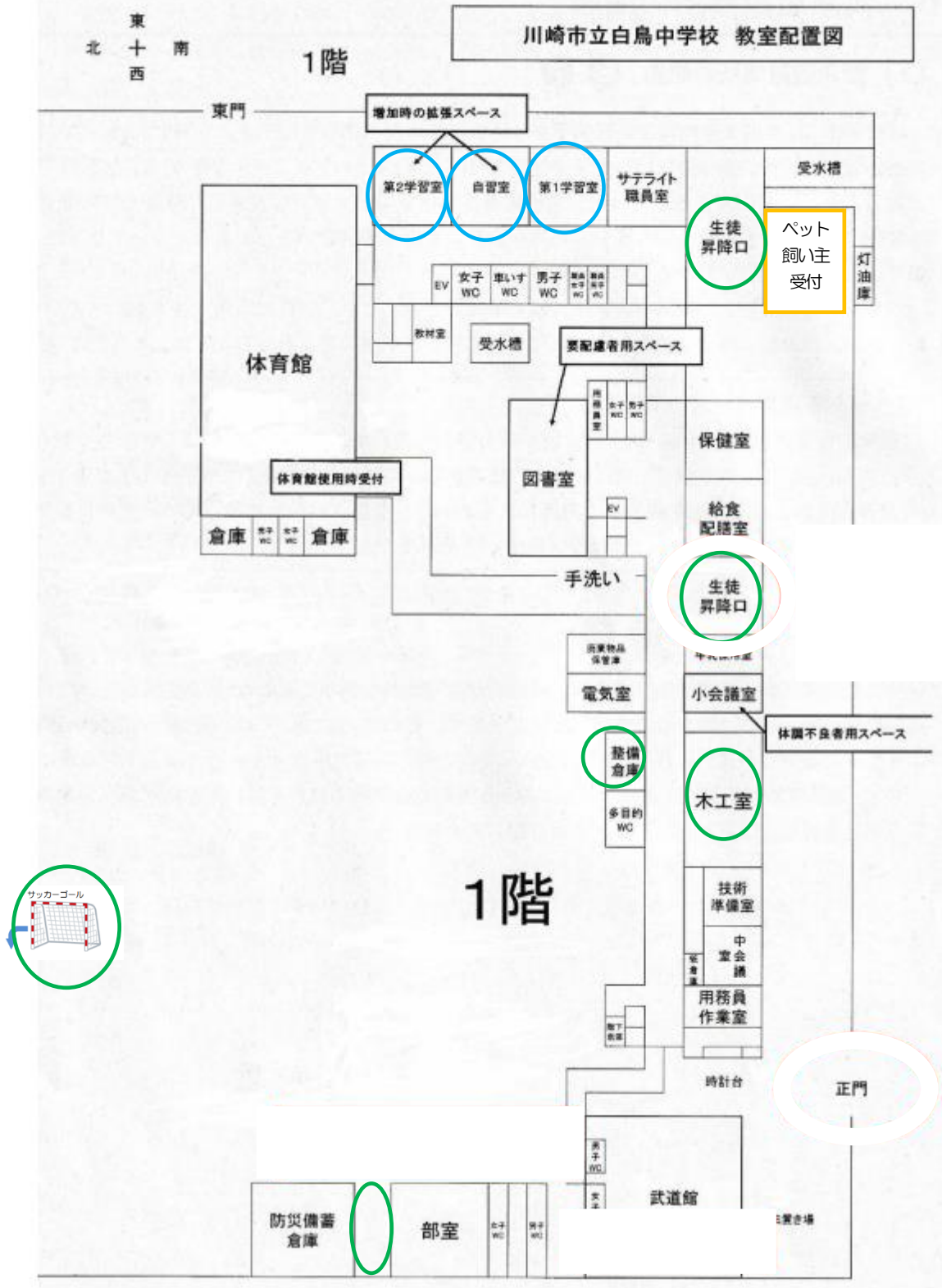
同行避難の候補スペース

飼い主スペース

ペットスペース

ペット飼い
主受付

避難所の基本レイアウト



※次回の定例会時に、白中を視察する。写真撮影、寸法を測るなど。

自主防災部長に相談。自主防災部長から白中の校長先生に視察の依頼をしていただく。

(3) 飼育管理基本ルールを作成

- 全体のルール
- トイレ、散歩、給餌 等
- 飼い主の会の立ち上げ
- トラブル回避

※次回の定例会時に、ルール項目をピックアップする。


(4) 同行避難用スターキット

- 平時は、防災倉庫に保管。
- 災害時、避難所を立ち上げる時に、ペット同行避難者用受付に設置する。
- 指示書（カード）の作成。



【写真提供：NPO 法人アナイス】

① 指示書



プラスチックケース

指示書

物資

- 指示書 1 枚が 1 つのミッションとなります。
- イラストを使って誰が読んでも理解できる指示を記載しておきます。
- ミッションを 1 つずつクリアしてことで飼い主でも準備が進められるようになっています。

※避難所全体のスターキットについても提案していくことになるかもしれない。

このスターキットの中の指示書に、「同行避難用スターキットを〇〇へ設置する」の指示が書かれている。

避難所開設時には、案内板などの設置により、ペットと人の動線が分かれている状況を作る。

3 その他

- 夜間、防災倉庫の鍵を開けることも難しくなる。ヘルメットにヘッドライトを付けると良い。
- 白中避難所への物資は、東門から搬入される。
- 白中の工事は、4月から開始されるらしい。工事中に災害が発生した場合、近隣の避難所に避難することになるが、どこに避難してもよいのか？
- ペットの毛が衣服に付着しているかもしれない。コロコロの準備も必要かも。
- コロナ禍の1人当たりのスペースは、2m×1m。
- 12月の自治会回覧板で、同行避難方法についてのお知らせをする。
- 今回作成しているペット同行避難に伴う避難所運営（案）は、標準例として近隣に広めていく。

■12月定例会

日時 12月4日（土）14：00頃 ※正確な時間は、後日、連絡致します。

場所 白鳥中学校前（白中視察）
⇒ 自治会館1F集会所（定例会）